

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公表番号】特表2009-511116(P2009-511116A)

【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2008-534545(P2008-534545)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 L

A 4 1 B 13/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

縦方向と、前記縦方向に垂直な横方向と、物品第一側部縁と、前記物品第一側部縁とは反対側の物品第二側部縁と、1対の端部縁とを定める吸収性物品であって、

液体不透過性外カバーと、

前記外カバー上に配置された吸収性本体と、

前記吸収性本体とともに配置された温度変化部材と、

を含み、

前記温度変化部材は、前記温度変化部材の前記横方向にわたり重量比で非均一に分散された状態で、前記温度変化部材とともに配置された温度変化材料を含み、前記温度変化部材は、ここに記載された温度変化テストにより求められるものとして、少なくとも摂氏5度の温度変化を前記物品に与えることを特徴とする吸収性物品。

【請求項2】

前記温度変化部材は、第一温度変化部材領域と、第二温度変化部材領域と、前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域との間の第三温度変化部材領域を定め、前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域は、重量比で、前記第三温度変化部材領域より大きい量の温度変化材料を含むことを特徴とする請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項3】

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域は、重量比で、前記温度変化材料と実質的に同じ量を含むことを特徴とする請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項4】

前記温度変化部材は、温度変化部材第一側部縁と、前記温度変化部材第一側部縁とは反対側の温度変化部材第二側部縁とを定め、前記第一温度変化部材領域は、前記温度変化部材第一側部縁に近い位置にあり、前記第二温度変化部材領域は、前記温度変化部材第二側部縁に近い位置あることを特徴とする請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項5】

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域の各々は、前記第三温度変化部

材領域より高い密度を定めることを特徴とする請求項4に記載の吸収性物品。

【請求項6】

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域の各々は、少なくとも0.20グラム/cm³の密度を定めることを特徴とする請求項4に記載の吸収性物品。

【請求項7】

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域の各々は、0.25グラム/cm³ないし0.45グラム/cm³の密度を定めることを特徴とする請求項4に記載の吸収性物品。

【請求項8】

前記温度変化部材は、温度変化材料の全体量を定め、前記第三温度変化部材領域は、前記温度変化材料の全体量の少なくとも10重量%を含むことを特徴とする請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項9】

前記温度変化部材は、温度変化材料の全体量を定め、前記第三温度変化部材領域は、前記温度変化材料の全体量の5重量%より小さい量を含むことを特徴とする請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項10】

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域の各々は、前記第三温度変化部材領域より少なくとも10重量%大きい前記温度変化材料を含むことを特徴とする請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項11】

前記温度変化部材は、温度変化材料の全体量を定め、前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域はともに、前記温度変化材料の全体量の少なくとも60重量%を含むことを特徴とする請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項12】

前記温度変化部材は、ポリマー繊維と吸収性繊維を含む繊維のコフォームマトリックスを更に含み、前記温度変化材料は、前記繊維のコフォームマトリックス内に混入されることを特徴とする請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項13】

前記温度変化材料は、吸熱性材料または発熱性材料のいずれかであることを特徴とする請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項14】

前記温度変化材料は、キシリトール、ソルビトール、及びエリスリトールからなる群から選択されたものを含むことを特徴とする請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項15】

縦方向と、前記縦方向に垂直な横方向と、物品第一側部縁と、前記物品第一側部縁とは反対側の物品第二側部縁と、1対の端部縁とを定める吸収性物品であって、

液体不透過性外カバーと、

前記外カバー上に配置された吸収性本体と、

前記吸収性本体とともに配置された温度変化部材と、
を含み、

前記温度変化部材は、温度変化部材第一側部縁と、前記温度変化部材第一側部縁とは反対側の温度変化部材第二側部縁と、第一温度変化部材領域と、第二温度変化部材領域と、前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域との間の第三温度変化部材領域とを定め、前記温度変化部材は、前記温度変化部材の前記横方向にわたって重量比で非均一に分散された状態で、前記温度変化部材とともに配置された温度変化材料を含み、

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域は、重量比で、前記第三温度変化部材領域より大きい量の温度変化材料を含み、前記温度変化部材は、ここに記載された温度変化テストにより求められるものとして、少なくとも摂氏5度の温度変化を前記物品に与えることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 1 6】

前記第一温度変化部材領域と前記第二温度変化部材領域各々は、前記第三温度変化部材領域より高い密度を定めることを特徴とする請求項1 5に記載の吸収性物品。

【請求項 1 7】

前記温度変化材料は、吸熱性材料であることを特徴とする請求項1 5に記載の吸収性物品。

【請求項 1 8】

前記温度変化部材は、ポリマー纖維と吸収性纖維とを含む纖維のコフォームマトリックスを更に含み、前記温度変化材料は、前記纖維のコフォームマトリックス内に混入されることを特徴とする請求項1 5に記載の吸収性物品。